



令和6年度 三重県精神保健福祉士協会 定期総会・記念講演

令和6年6月2日（日）
担当 四日市ブロック

定期総会・記念講演

日時：令和6年6月2日（日）

13:00 ~ 16:30

場所：総合心療センターひなが 多目的室

参加者： 65名



記念講演（13：00～15：30）

講師 一般社団法人 コミュニティーネットハピネス代表理事

土屋 幸己 先生（認定社会福祉士）

題目

「困難事例を解きほぐす」

今こそPSWが動くとき

～本人中心のアセスメントで支援が変わる～

記念講演では

多機関協働による課題解決に活用できる

「全方位型アセスメントと全方位型支援」

についてお話していただきました。



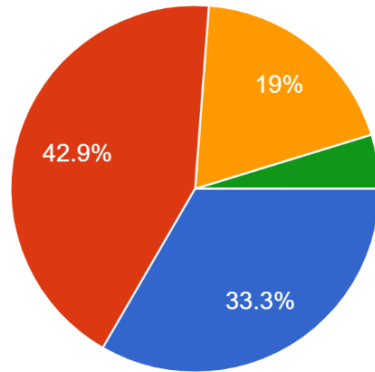
記念講演では

「全方位型アセスメントと全方位型支援」を活用した
事例検討会を実施しました。



Q3 研修会の内容は理解できましたか？

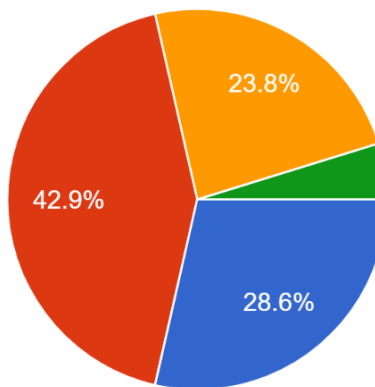
21件の回答



- 十分に理解できた。
- 概ね理解できた。
- それなりに理解できた。
- 少しは理解できた。
- 全く理解できなかった。

Q4 今回の研修会で得た知識やスキルは活用できますか？

21件の回答



- 十分活用できる。
- かなり活用できる。
- ある程度活用できる。
- 少しは活用できる。
- 全く活用できない。

記念講演 参加者アンケートより

Q5 本日の研修内容について、講師へ伝えたい事（ご感想・ご意見等）や、今後の業務や支援に活かせると思った点、参考になった点をご記入ください。

・まさに困難事例を解きほぐすという内容でした。全方位型アセスメントを実際の事例検討を通して体験し、重層的支援の活用方法について具体的に知ることができました。

・一事例を取り上げて検討しましたが、自分自身の持っているケースにも共通している所がたくさんありました。自身のケースに困難さを感じている理由を言語化することができた研修でした。

・問題点と課題は似たような意味で使っていましたが、違うものであり区別できることで根幹が明確化されるのだと気づきました。

・現在関わっている担当患者様も今回の事例と同じように今後の生活の見通し、本人の目標が明確でない点が類似していた。全方位型アセスメントを実践しようと思いました。生活歴の重要性を改めて感じた。

・もう少しじっくりとグループワークをしたかった。



記念講演 参加者アンケートより

定期総会（15：45～16：30）

議決権保有者	147名
参加者	48名
委任状提出者	55名
計	103名

※議決権保有者過半数のため、総会は成立

定期総会・記念講演の感想

患者様は一人一人病状も背景も違うので、アセスメント方法も一人一人やり方が違って当たり前であり、再現性のあるアセスメントに関して懐疑的な思いであった。しかし、全方位型アセスメントと全方位型支援の方法を学び、経験や感といった具体性がない事で話を進めてはいけなと感じた。

全方位型アセスメントにおける問題抽出から支援計画作成までの流れがあることで、特に支援相談員歴が浅い者は実践しやすいのではと感じた。頭の中でもやもやしながら行っていた支援が、何の情報が必要で何が足りないのかを視覚的に感じる事が出来ることも強みだと感じた。

全方位型アセスメントと全方位型支援の方法を聞いただけで、いきなり実践で使用となると不安も強く間違いも出てくると思う。しかし、今回このような機会を頂き、皆様と訓練が出来た事は本当に大きい経験であった。これから幾度となく難関事例に出くわすと思う。その都度この全方位型アセスメントと全方位型支援の方法を思い出し、活用していきたい。

水沢病院 山口 陽平

定期総会・記念講演の感想

「全方位型アセスメントと全方位型支援の概要」の講演・グループワークに参加して

水沢病院 寺田 江花

今回の講演にて「全方位型アセスメントと全方位型支援」という言葉を初めて耳にしました。グループワークでは患者様に対する意見や疑問について、精神保健福祉士という同じ職種であるものの見方や捉え方は人によって異なることを改めて感じました。様々な視点から物事を考え、複数の意見をもとに全方位から支援を考え、本人へ提案する必要があるのだと学びました。そして何より患者様が何に困り今何を求め、支援者がどこまで寄り添い支援が提供出来るのか。支援の限界がある中で、本人らしく安定した生活が出来るよう、視野を広げ課題を抽出し支援を検討し提供することが最も大切なことだと感じました。

この講演・グループワークで得た知識を忘れずに、今後も精神保健福祉士として患者様に寄り添った支援が出来るよう日々精進していきたいと思えます。

定期総会受付業務について (次年度検討事案)

- ・事前申し込みをしていない人の窓口を設置するとよい（今年度は当日申込者が多かった）
- ・事前に申し込みをしている人で、当日協会に入会する人の領収書は新規入会窓口に用意しておいた方がよい
- ・当日協会に入会する人用に総会資料の用意が必要か？
- ・受付対応しながら領収書と控えを切り離す作業が大変だった。→何か良い改善方法はないか
- ・受付時間が30分は短かった（会費徴収やグループワーク同意書も必要だったため）
- ・受付スペースをもう少し広げればよかった。
- ・受付は地区ブロックごとに分けないといけないのか
- ・個人情報に関する同意書は各ブロックにおいておけばよかった。（ほとんど同意得ることができなかった）
- ・受付を地区ブロックで分けるのではなく、正会員と非会員で窓口をわけてはいけないのか（お金の徴収間違いを防ぐため）
- ・当日不参加の人（代理で持参された人）用の支払窓口があるとよい。

ありがとうございました
